

最終回 FR式不登校対応チャートワークショップ

教師が、支援者が取り組む不登校対応の実際

不登校という用語の生みの親 花輪敏男先生による渾身の2泊3日 22.5時間

文科省は確保法を受けて、令和元年の「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」において不登校の理由に応じた働き掛けや関わりの重要性について、「不登校児童生徒が、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、児童生徒自身を見守りつつ、不登校のきっかけや継続理由に応じて、その環境づくりのために適切な支援や働き掛けを行う必要がある」と明確に述べています。文科省(2018)の不登校追跡調査では、不登校経験者の直接の声として「学校に行かなかったことを後悔している」が「行かなくてよかった」を上回りました。本当は学校で楽しく過ごしたかったのです。子どもにとっての「社会」である学校で、いろいろな事情やちがいのある子どもが集まって生き生きできることこそ、本来の学校のあるべき姿ではないでしょうか。

コロナ禍で増え続ける不登校を「新たな傾向」とみる向きがあります。しかし花輪(1991)は不登校を「ガソリンの少ない自動車」にたとえて、「カウンセリングは『ガソリンを入れる働き』があるので、子どもは落ち着いて、エネルギーも回復してくるが、適度に動かすこともしないとバッテリーがあがってしまい、いざ動こうというときに動けない」と指摘しています。コロナ禍の不登校の増加は、潜在的に緊張や不安の高い群の子どものバッテリーがあがってしまったためとみています。それに対応するのは日常的に接することができる学校の教師（担任）が適しています。ではどうするか。ワークショップでは「目からうろこ」の驚くほど具体的で細やかな「かかわり」が示されます。

不登校をどう見るか。「認識が変われば、対応が変わる」。不登校は怠けやさぼりではなく、学校に対する「すくみ反応」です。子どもの周囲の大人の認識を変えることから始まります。子どものつらさをよく理解し、無理させることなく、一番の味方となって支える対応に変わります。

不登校の最終的な解決とは「自分で決めて、自分で考え、自分で行動すること」

自立を目指して具体的な人間関係作りの中で育つことで、結果として登校するようになる子どもはたくさんいます。

花輪(1991)は「子どもは答えを求めているのではない、温かな関係に支えられ、悩みや夢を語り合うという関係そのものが子どもにとっての力となる」と述べています。

不登校対応には道筋があります。子どもの状態・成長に合わせて、今どういう状況にあるのか、何をどうすればいいのか具体的にわかり、これからの対応に見通しが持てます。

教師との温かな人間関係の中で、子どもも教師も自立に向けて成長し、共に育ちます。22.5時間たっぷり余すところなく受講することのできる最後のチャンスです。

これまでのワークショップ受講者は約400名。日本全国からご参加いただいています。初めての方も再度参加したい方も、この機を逃さず花輪先生のもとにご参加ください。

最終回 第16回 FR式不登校対応チャートワークショップのご案内

教育機会確保法後、ますます増え続ける不登校。教師と子どもの温かなかわりは重要性を増しています。日本で唯一の不登校対応ワークショップ。「不登校」という用語の名付け親である花輪敏男先生による、いちばん古くからあり、いちばん新しい、もっとも具体的な不登校対応の決定版「FR式不登校対応チャートワークショップ」最後のこの機会にぜひご参加ください。

■期 日 2023年1月7日(土)・8日(日)・9日(月・成人の日) 2泊3日

■会 場 マホロバマイズ三浦 京浜急行 三浦海岸駅から徒歩7分 送迎バスあり

■目 的 不登校の子どもたちの学級復帰にむけた対応の理解と習得。

学級担任が不登校の子どもたちの気持ちを理解することが学級復帰の大前提です。

不登校の子どもや保護者の気持ちを理解し、子どもや保護者が日常的に抱える不登校生活特有の悩みに対して、こんなときには？どうしたらいい？が演習を通して具体的に身につきます。

発達障害の理解と支援教育の具体的な対応をベースにチャートを展開します。

■内 容 例 ・引きこもり生徒へのアプローチの仕方・・・昼夜逆転にも意味がある？
・家庭訪問での配布物の渡し方・・・仲のよい友人をつかうことはタブー？
・いよいよ教室復帰の瞬間・・・「教室にはいるときは、左足から入るんだよ。」
など、ウラ技の数々。

■主 催 神奈川県教育カウンセラー協会

■対 象 小・中・高等学校の教職員、教育相談・生徒指導担当者、教育委員会関係者、
支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、相談員、相談機関、
不登校のお子さんのおられる保護者の方々、不登校にかかわるすべての人

■定 員 30名(20名以下の場合には開催いたしません)

■講 師 花輪 敏男氏 神奈川県教育カウンセラー協会顧問

FR教育臨床研究所所長 共栄大学客員教授

■参 加 費 49,000円(4名1区画、宿泊・食事代・資料代・懇親会費込み)

一区画に複数の和洋寝室、居間にダイニングキッチン風呂付マンションタイプを4名でシェアします。
全日参加不可の方、同室不可の方、日帰り希望の方、お気軽にご相談ください。

■申し込み 所定の申込用紙を記入の上、受付時間 8:00~21:00に送信して下さい。

「神奈川県教育カウンセラー協会」FAX専用 044-567-4918

■主な日程

1月7日(土)	受付 12:00 ~ 開講式 12:30	懇親会・情報交換会 20:45~22:00
講 義	①13:00~15:00 ②15:30~18:00 ③19:00~21:00	(受講時間を含みます) 9日(月・成人の日) ⑧9:00~12:00
8日(日)	④9:00~12:00 ⑤13:00~15:00 ⑥15:30~17:30 ⑦18:30~20:30	⑨13:00~15:00 閉 講 式 15:00~15:15 解散予定 15:15頃 (受講時間 合計 22.5 時間)

■関連図書 「エンカウンターで不登校対応が変わる」2010 図書文化社刊

■HP 神奈川県教育カウンセラー協会HP <http://www.keca.jp/> Facebook

NPO日本教育カウンセラー協会 <https://www.jeca.gr.jp/>

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会 <http://jsca.guide>

FR式不登校対応チャート研究会 <https://www.facebook.com/frfutoukouchart/>

